

# げんき 考房 こまき NEWS

編集 (特) こまき市民活動ネットワーク



約200人の参加者を前に「市民まちづくり研究会」に続いて「こどもまちづくり研究会」の5グループがそれぞれ提案発表を行いました。



シンポジウムでは、市民と行政の協働による新しいまちづくりについて、パネラーの熱論が繰り広げられました。

## 第6次小牧市総合計画に向けて

### 「まちづくりシンポジウム」開催

8月24日(日)まなび創造館あさひホールにおいて『まちづくりシンポジウム』(小牧市主催)が開催されました。

前半は、『市民まちづくり研究会』(H19年8月~H20年1月開催)と『こどもまちづくり研究会』(H20年5月~8月開催)による提案発表があり、共通のテーマとして「次世代のこころ育て」、「障害者・高齢者の支援」、「中心市街地活性化」、「交通問題改善」、「環境美化・緑地保全」が提案されました。

以上に加えて『市民まちづくり研究会』からは「防犯・防災・交通安全」、「多文化共生社会の実現」、「自治会活動の活性化」が、『こどもまちづくり研究会』からは「地区行事の活性化」、「便利な公共交通」、さらにごみ拾いなど環境美化活動の活発化や、成人式における植樹活動、幼児から高齢者への花の種の配布といった環境美化や緑地保全のユニークな提案がされました。また、「大人が挨拶をしない」、「大人がボランティアに積極的に参加を」といった要望もありました。

#### パネルディスカッション

#### 「協働でひろがる新たなまちづくり」

後半は愛知文教大学学長 坂田新氏のコーディネートにより、これからの小牧のまちづくりについてパネルディスカッションが行われました。

中野直輝市長は子ども時代のごみの出ない生活を振り返り「まちを挙げてのごみの削減」を、区長会連合会長の稲垣喜久治さんは「地域3あい事業の推進」を、小中学校PTA連絡協議会母親委員長の河合美智子さんは「子どものまちづくり参加の意義」を、商工会議所まちづくり委員長の松浦秀則さんは「中心市街地活性化と東部の工業団地・農業公園、交通網づくりの重要性」を、こまき市民活動ネットワークの松田代表は「市民活動における団塊世代のマンパワーの重要性とCSR活動の必要性」を挙げ、パネラーそれぞれの視点の意見が述べられました。

一方、「こどもまちづくり研究会」の中学生メンバーは今回の体験でわが町について考える良い機会になったと、前向きな感想を語っていました。

## 中部大学インターンシップ生 市民活動センターで職場体験！

8月19日（火）から9月2日（火）まで、中部大学のインターンシップ生2名が市民活動センターで職場体験をしました。

窓口サービスや電話対応といった受付業務のほか、市民情報センターギャラリーの搬出作業や会議への参加など、小牧における市民活動を肌で感じることであった10日間となりました。



8月26日（火）市役所南庁舎5階大会議室で行われた「第3回まちを育む市民と行政の協働ルールブック」策定委員会会議に出席。

### 人文学部 コミュニケーション学科3年 安藤幸雄さん



小牧市市民活動センターには様々な市民活動団体の方が訪れており、地域の活動や交流について学ぶ良い機会となりました。また、行政と市民の架け橋となり、協働によって町を豊かにしようとする活動に触れて、新しい取り組みであると関心を抱くとともに感銘を受けました。

市民の声を行政に届け、細かな問題を解決する糸口となれば「まち」は目覚しく発展するはずです。人々が相互に協力し合い、利益よりも地域の活性化を目的として活動する姿を見て、

働くことの意義について考えさせられました。

特に、職員の方々は生き生きと仕事をこなしており、感謝されることや交流を深めること、社会に貢献できることが何よりも喜びであり対価と感じているかのようでした。現在、企業も社会貢献に努め始めており、利益追求だけが目的では無くなりつつあります。就職を控えた私にとって、奉仕や社会貢献の精神を勉強できたことは大きな成果となりました。

短い間でしたが、こちらでインターンシップを受けられたことを、大変嬉しく思います。様々な方からご指導を頂けたこと、貴重な体験をさせて頂いたことに感謝いたします。

### 応用生物学部 応用生物化学科3年 吉野里美さん



小牧市市民活動センターの事務的な仕事はもちろんのことですが、「まちを育む 市民と行政の協働ルールブック」実務編の市役所での会議への参加というお話を頂いた時はとても驚きました。そこでは、市民活動団体と行政との連携の大切さや、将来を見越してのそれぞれの立場の在り方について考えさせられました。利益や、責任、随意契約の問題など、普段聞きなれない

言葉や考えを聞けたこと、社会の仕組みが垣間見れたことは貴重な体験でした。ただ、自分の知識が少ないばかりに、話についていけなかったことは悔やまれました。このように会議に諮って考え、皆さんが実現させていくことで、「まち」をより豊かに住みやすくしていくのだと感じました。新しい経験、新しい考え方に触れることが出来て、ここでインターンシップが出来たことをとても嬉しく思いました。たった10日間でしたが、お世話になった人に感謝せずにはられません。ありがとうございました。

## 愛知文教大学 社会人講座等のご案内

寄稿／愛知文教大学学長 坂田 新 氏

愛知文教大学では、平成 10 年の開学以来、「地域の人々とともに学ぶ」ことを目指してきました。

①社会人本科生・社会人聴講生を受け入れています。短大・大学等の卒業生の場合は、3 年次学生に編入することもできます。また、大学院（修士課程・博士課程とも、中国専攻と英米専攻）も設置しています。

②書跡資料研究会では、個人の家庭に眠ったままになっている、読めないままの掛け軸・額・古文書等の読解説明をします。文化財が価値を知られることのないまま廃棄されることから救いたいと考えています。（毎月第三木曜日・午後 6 時・名古屋 N H K センタービル）

③東洋文化振興会では中国や日本の古典を取

り上げて公開講演会を開いております。（毎月第 2 土曜日・午後 2 時・名古屋伏見新日本法規出版社会議室）

④小牧市に関わりのある古文書を解読整理することが始まります。古文書の基本的な知識を身につけてもらい、具体的な解読整理をおこないます。

⑤学外の方でも図書館を利用することができます。

いずれも詳細は大学事務局にお問い合わせ下さい。

### ■愛知文教大学

〒485-8565

愛知県小牧市大字大草字年上坂 5969-3

TEL : (0568) 78-2211 FAX : (0568) 78-2240

## <H20年度小牧市市民活動助成金>対象事業の活動報告

ベビーツインズ 主催

双子をもつ母親の交流事業



託児ボランティアに子どもを預けてお母さんたちだけの交流会。

7月4日（金）、中部公民館 3 階学習室において、双子の子を持つ先輩ママ 4 名を迎えて交流会を行いました。

体験談を交え、食事やおむつトレーニングなどの育児アドバイスのほか、働くお母さんのための保育園情報など参考になる話に、若いお母さんたちは大きく頷きながら熱心に耳を傾けていました。

下末米寿会 主催

パブリックボランティア事業



分担して手際よく完成した立て看板の出来上がりに大満足！

7月19日（土）、「子どもを交通事故から守ろう」・「ゴミ捨て防止・環境美化」の啓発を目的に、手作りの立て看板 4 5 本を作成しました。あらかじめ作っておいた看板のベースに、日に焼けない顔料で印刷シラミネート加工したポスターを貼り、杭（くい）に防腐剤を塗って完成。後日、陶小学校通学路を中心に設置作業を行いました。

市之久田区

地域 3 あい事業運営委員会 主催

地域環境保全事業



ちびっこ広場と市之久田広場の樹木約 40 本を消毒して回りました。

7月27日（日）、区内の清掃及びちびっこ広場と市之久田広場の草刈・樹木の消毒作業などを行いました。150 名が参加し、内 30 名の子どもたちも一緒にゴミ拾いなどで汗を流しました。年数回行う地域の環境保全活動を通して、地域住民の「ふれあい・学びあい・支えあい」の心を育てています。

催し

H20年度  
小牧市市民活動助成金対象事業  
DV根絶へ  
手をつなぐ女性のシンポジウム

DV被害への国や県の取り組み、私たちが住む町の現状、その中でできることは何か……。支援の現場の声やこれからの方向性について話し合います。日時/10月5日(日)13:30 開始場所/ラピオ5階まなび創造館 研修室 参加費/500円 パネリスト/大府女性センターニューいしがせ館長 田端美智子氏・中京大学准教授 柳本祐加子氏 問合せ/スタッフ・740代表 吉岡さん ☎090-5116-4767

こそだてちえぶくろ

歌や読み聞かせを中心に楽しく、よりよい親子関係を築いていきませんか? 期間/9月~10月(1回約1時間) 場所/市内17会場 対象/0~3歳のお子さんと保護者 料金/無料 ※日時や場所など詳細はお問合せください。問合せ/こそだてちえぶくろ ☎052-565-6440

第29回小牧市民まつり  
親子であそぼ!!げんき村!!

今年も小牧山会場に市民活動団体が大集合! 楽しい体験&販売のブースがいっぱいの「げんき村」を開村します。大阪の大道芸人シンディーザ・クラウンの楽しいパフォーマンスも見逃せません。日時/10月18・19日(土・日)10:00~16:00 会場/小牧山史跡公園※雨天決行 問合せ/(特)こまき市民活動ネットワーク ☎74-4011

~織田信長サミットに向けた  
“こころ”のリレー講演~  
第2回 棟梁「匠のこころ」

法隆寺三重塔、薬師寺金堂、同西塔の再建に西岡常一氏の内弟子として活躍し、自身で「鵜工舎」を設立し後進の育成に力を注ぐ棟梁、小川三夫氏の講演会。日時/11月22日(土)14:00開演(13:30開場) 場所/東部市民センター 参加費/無料 問合せ/(特)こまき市民活動ネットワーク ☎74-4011 FAX74-4070 E-mail info@npo-komaki.net

愛知県委託  
「心のバリアフリー推進事業」  
しょうがいのある人の  
喜・怒・哀・楽

障がいのある人の気持ちや暮らしを知ることで、だれもが暮らしやすいまちづくりについて考えます。第一部: 講演 愛知淑徳大学 医療福祉学部福祉貢献学科教授 谷口明広氏 第二部: シンポジウム 日時/12月7日(日)13:30~16:00 場所/ふれあいセンター3階大会議室 参加/無料 問合せ/ここばりこまき FAX 020-4622-5783

募 集

中心市街地にぎわい創出承認事業  
こまき街かどライブ

「こまき街かどライブ」に出演しませんか? ボランティアスタッフも募集しています。出演内容/演奏・ダンス・大道芸 開催日時/毎月最終の日曜日 11:00~15:00 場所/ラピオ南西角(駐輪場) 主催/こまき街かどライブ実行委員会 問合せ/小牧商工会議所振興課(担当:中嶋) ☎72-1111

事務局便り

■ 市民情報センター ギャラリーの催し

9月1日~27日 牧小デコパージュサークル作品展  
10月2日~30日 どん絵もんのポケット絵手紙展  
11月1日~10日 小牧平成夏まつり・七夕まつり  
フォトコンテスト

■ センターをご利用ください

市民活動センターは市民活動の支援を行うところです。市内で市民活動を行っている団体はもちろん、在住、在勤、在学のどなたも利用できます。簡単な利用登録(無料、印鑑が必要)だけで会議スペース、印刷機(有料)、パソコンなどが使えます。事務局に気軽におたずねください。

■ 市民活動団体登録について

市では「市民活動団体」の登録を呼びかけています。登録団体は市のホームページで活動内容などをPRすることができるほか、市民活動助成金を申請する際の応募資格ともなります。登録資格や申し込み方法など詳細は生活交流課(76-1173)または市民活動センター(74-4011)におたずねください。

編集後記:

インターンシップ生が職場体験を終え、平均年齢がまたぐんとあがった事務局です(汗)さて、天高く馬肥ゆる秋ですね! 各地でイベントも盛りだくさん! 爽やかなこの季節を目いっぱい楽しみましょう! (U)

小牧市市民活動センター 〒485-0041 小牧市小牧2丁目107番地 市公民館内 TEL/0568-74-4011 FAX/0568-74-4070  
休館日/月曜日、年末年始(12月29日~1月3日) Eメール/komaki.npo-c@me.ccnw.ne.jp  
開設時間/10~18時 HPアドレス/ http://komakici.jp/